

## 第 1 章 総合政策部

### 第 1 節 総合政策課

#### 〔総括概要〕

総合政策課の主な分掌事務は、市政の総合的企画及び調整関係、広域行政関係、土地利用・エネルギー対策等の調整関係、国際国内交流事業関係、渡良瀬遊水地関係及び各種の統計関係である。

総合計画については、市民代表による栃木市総合計画策定懇談会をはじめとする各策定体制により、基本構想・基本計画を決定のうえ、平成24年12月栃木市議会定例会による議決を経て、栃木市総合計画を策定した。平成25年度においては、総合計画の進捗管理を行うため、新しい行政評価制度導入に向けた検討・準備を行った。

庁議、部長会議、政策会議等については、栃木市の施策の方向性の決定、重要案件の審議、全庁的な意見調整及び協議が必要な事案の審議を行う場として、定例的に会議を開催した。

国際交流事業については、まず、中国金華市に対しては、同市からの小学生訪問団2団を受け入れた。次に、米国エバンズビル市に対しては、同市長が栃木市を訪問予定であったが、先方の都合により中止となった。このほか、市内中学2年生を対象とした中学生海外派遣事業を実施した。

国内交流事業については、栃木市の産業と物産展に北海道滝川市が出展したほか、東京都中央区との交流を推進した。

渡良瀬遊水地関係については、まず渡良瀬遊水地に係る「企画・調整」として、渡良瀬遊水地を仮想の国「ハートランド」と位置づけた「ハートランド構想」を発表し、渡良瀬遊水地の基本計画「ハートランドプラン」策定に向けた準備を行った。また渡良瀬遊水地庁内連絡調整会議を開催し庁内の意見や事業の調整をするとともに、ラムサール条約登録湿地関係市町村会議や渡良瀬遊水地保全・利活用協議会などの庁外の各種会議に参加し、他自治体などと連携、調整を行った。次に渡良瀬遊水地の普及啓発として、「講演会・パネルディスカッションの開催」、「普及啓発用品の制作」、「パネル等の巡回展の開催」、「PRブースの設置」など、幅広い層の方に対して遊水地に親しみを持ってもらえるようなPR事業を行った。

統計関係では、住宅・土地統計調査、工業統計調査及び学校基本調査の基幹統計調査のほか、県単統計調査として毎月人口統計調査を実施した。また、平成26年版県民手帳の予約受付及び配付を行った。

#### 政策総務担当

- 1 栃木県南部水資源開発促進協議会（3市3町：小山市、栃木市、下野市、壬生町、野木町、岩舟町）

栃木県における水資源の総合的調査検討と思川開発事業促進を図ることを目的として、

栃木県南部水資源開発促進協議会の活動に参加した。

・活動内容

実施日	内 容	場 所
6月19日（水）	平成24年度決算監査	栃木市役所
6月25日（火）	総会	道の駅思川
8月28日（水）	幹事会	小山市役所
10月10日（木）	要望活動	国土交通本省ほか

## 2 国際交流関係

### (1) 友好・姉妹都市との交流

#### ア 金華市関係

金華市小学生訪問団を2団受け入れた。

##### (ア) 第1団

- ・実施期間 7月1日（月）～6日（土）  
※栃木市受入期間 7月3日（水）～4日（木）
- ・参加者 小学生42人、教員6人、外事弁公室通訳1人
- ・訪日校 金華市環城小学校、金華師範附属小教育集团婺城小学校、  
武義県壺山小学校
- ・交流校 大宮北小学校、国府北小学校

##### (イ) 第2団

- ・実施期間 7月9日（火）～14日（日）  
※栃木市受入期間 7月11日（木）～13日（土）
- ・参加者 小学生36人、教員6人、外事弁公室通訳1人
- ・訪日校 義烏市実験小学校、東陽市呉寧第五小学校
- ・交流校 寺尾中央小学校、大平中央小学校

#### イ エバンズビル市関係

9月7日に、エバンズビル市長が栃木市を訪問する予定であったが、先方の都合により中止となった。

### (2) 在住外国人支援事業

栃木市国際交流協会及び市役所において、外国人生活相談を受け付けた。

・相談内容内訳

相談内容	件数(件)
福祉・医療費・生活費	59
学校教育	59
税金・年金・保険	25
医療・病院・心理	23
住宅	19
その他	327
合 計	512

### 3 中学生海外派遣事業

本市の次代を担う中学生を海外に派遣することにより、外国の自然、文化及び社会に接する体験を通して、国際理解及び国際感覚の基礎を培い、併せて、本市の国際交流を将来に渡り率先して推進していく人材を育成することを目的として、中学生海外派遣事業を実施した。

- ・派遣先 オーストラリア ニューサウスウェールズ州 シドニー市
- ・派遣期間 8月16日(金)～23日(金)
- ・派遣人数 中学2年生 28人

( 応募者 84人  
 1次選考(面接) : 6月8日(土)実施  
 2次選考(抽選) : 6月16日(日)実施 )

引率者 2人

#### (1) 事業概要

##### ア 事前研修

実施日	場 所	内 容	講師等
6月16日(日) 抽選会後	市役所正庁	事前研修日程説明 負担金の納入・旅券申請説明	市職員
7月24日(水)	市役所正庁	海外研修日程説明(保険の内容説明)、携行品、心構え、マナー等現地での注意事項、レンタルスーツケースの申し込みについて	旅行会社
		自己紹介、班編成(ホームステイ)について	市職員
7月30日(火)	市役所正庁	英会話研修 ホームステイ及び学校での自己紹介・栃木の紹介ができるようにする。	市職員
8月2日(金)	市民会館	英会話研修 ホームステイ及び学校での自己紹介・栃木の紹介ができるようにする。	市職員
8月9日(金)	市役所正庁	壮行会(終了後記念写真撮影) ・出席者 市長、教育長、総合政策部長 教育部長、派遣生徒、保護者 ・内 容 市長等挨拶、代表者挨拶	市職員
		最終確認 出入国手続、服装、持参物、外貨の使い方	旅行会社

##### イ 海外研修

期 日	内 容
8月16日(金)	栃木市発

8月17日(土)	オーストラリア シドニーへ到着 ブルーマウンテンを見学 ホストファミリーと対面
8月18日(日)	ホストファミリーと1日行動
8月19日(月)	ホームステイ先から Covenant Christian School へ ウェルカムパーティ、英語レッスン、文化交流等 授業終了後、ホームステイ先へ
8月20日(火)	ホームステイ先から Covenant Christian School へ 英語レッスン、文化交流等 授業終了後、ホームステイ先へ
8月21日(水)	ホームステイ先から Covenant Christian School へ 英語レッスン、文化交流、フェアウェルパーティ等 授業終了後、ホームステイ先へ
8月22日(木)	ホームステイ先から Covenant Christian School へ シドニー市内見学 ボンダイビーチ、ミセスマッコリー岬、オペラハウス、ロックス地区等 オーストラリア シドニーを出発
8月23日(金)	栃木市着

#### ウ 事後研修

実施日	場 所	内 容
9月20日(金)	市民会館	帰国報告会練習
9月25日(水)	市民会館	生徒達による帰国報告会 ・出席者 市長、教育長、総合政策部長、総合政策課長、 教育部長、学校教育課長、派遣生徒、保護者 ・内 容 グループ単位による訪問時の感想等の発表

#### 4 国内交流関係

##### (1) 北海道滝川市

友好親善都市である北海道滝川市と交流を行った。

第36回栃木市の産業と物産展

- ・実施日 11月2日(土)、3日(日)
- ・会 場 蔵の街第一駐車場
- ・訪問者 滝川市職員1人 ほか 参加事業所 1社
- ・内 容 物産販売、観光PR

##### (2) 東京都中央区

本市の山車が名橋日本橋創架400年記念パレードへ参加したことがきっかけとなり、東京都中央区との交流が始まった。

ア 第24回中央区大江戸まつり盆おどり大会

- ・実施日 8月23日(金)、24日(土)

- ・会 場 中央区立浜町公園
- ・参加者 ひめ倶楽部、日向野商店、みそ工房蔵、栃木市観光協会延べ12人  
商工観光課・農林課・大平産業振興課より職員延べ16人
- ・内 容 物産販売、観光PR

イ 東京湾大華火祭交流都市懇談会

- ・実施日 8月10日（土）
- ・会 場 銀座キャピタルホテル
- ・参加者 総合政策部1人、議員1人

5 両毛線整備促進期成同盟会（9市1町 高崎市、前橋市、伊勢崎市、桐生市、みどり市、足利市、佐野市、栃木市、小山市、岩舟町）

両毛線整備促進及び列車増発を図るため、両毛線整備促進期成同盟会による活動に参加した。

・活動内容

実施日	内 容	場 所
6月3日（月）	幹事会	桐生市役所
7月1日（月）	総会	桐生市市民文化会館
11月11日（月）	J R 両毛線整備促進要望活動	J R 東日本高崎支社
11月20日（水）	視察研修	高崎駅・新前橋駅

6 東武日光・鬼怒川線沿線活性化連絡協議会（3市1町 栃木市、鹿沼市、日光市、岩舟町）

東武日光・鬼怒川線沿線自治体の連携と交流を深め、東武鉄道を利用した沿線自治体の振興を図る東武日光・鬼怒川線沿線活性化連絡協議会の活動に参加した。

(1) 活動内容

実施日	内 容	場 所
5月23日（木）	幹事会	鹿沼市役所
6月27日（木）	総会	鹿沼市役所
3月19日（水）	臨時総会	栃木市役所

(2) 「沿線情報誌」の制作

新たな視点による事業展開として、鉄道ファンを対象とした、あるいは鉄道ファンならではのコンテンツを掲載した情報誌を沿線住民の鉄道ファンにより作成し、新たな利用客の増加、新たな地域資源の発掘とその活用による沿線地域の活性化、沿線住民の人材活用と交流促進を目指すため、駅前情報誌プロジェクトチームを組織した。沿線情報誌は、平成26年度発行予定。

7 東北新幹線小山駅停車増便促進期成同盟会（8市 結城市、筑西市、足利市、栃木市、佐野市、小山市、真岡市、下野市）

小山駅に接続する宇都宮線、両毛線、水戸線沿線地域の発展と地域住民の利便性の向

上を図る東北新幹線小山駅停車増便促進期成同盟会の活動に参加した。

・活動内容

実施日	内 容	場 所
6月28日（金）	幹事会	小山市役所
7月11日（木）	総会（文書総会）	—
8月28日（水）	要望活動	J R 東日本株式会社 本社

- 8 北関東・新潟地域連携軸推進協議会（15市5町 新潟市、加茂市、長岡市、柏崎市、湯沢町、沼田市、渋川市、前橋市、高崎市、伊勢崎市、玉村町、みなかみ町、足利市、佐野市、岩舟町、小山市、栃木市、水戸市、茨城町、ひたちなか市）

北関東及び新潟地域との連携を図るため、北関東・新潟地域連携軸推進協議会の活動に参加した。

・活動内容

実施日	内 容	場 所
5月24日（金）	総会	高崎市役所
10月27日（日）	パンフレット提供	水戸市まちなかフェスティバル 「物産展」
1月15日（水）	担当課長会議・視察研修	加茂市

政策調整担当

1 栃木市総合計画

本市の自治の最高規範である「栃木市自治基本条例」の規定により、総合計画を策定し、市の最上位計画として位置付け、総合的な行政運営を行っていくこととした。

計画の策定にあたっては、合併後の新市のまちづくりの基本方針等を明らかにした「新市まちづくり計画」を踏まえ、将来目指すべき都市像を設定し、それに向けて地域の特性を生かしつつ、早期に市民の一体感を醸成するよう努めた。

また、市民アンケートや策定懇談会等の市民の声を計画に反映する仕組みにより、基本構想・基本計画を策定し、平成24年12月に栃木市議会による議決を経て、栃木市総合計画を策定した。

平成25年度においては、総合計画の進捗管理を行う体制として、市民による外部評価を含めた新しい行政評価制度導入に向けて検討・準備を行った。

2 広域行政事務組合（1市1町 栃木市、岩舟町）

栃木地区広域行政事務事業推進のため、各種会議等に参加した。

(1) 各種会議

会 議	回数（回）
正副管理者会議	3
企画・財政・衛生担当部課長合同会議	1

(2) 主な業務及び負担割合

主な業務	本市負担割合(%)
総務 栃木市、岩舟町	87.49
ごみ 栃木市、岩舟町	90.74

3 栃木県南部地方拠点都市地域整備推進協議会（5市2町 足利市、栃木市、佐野市、小山市、下野市、野木町、岩舟町）

地方拠点都市地域の整備及び産業業務施設の再配置の促進に関する法律に基づく地域整備のための基本計画及び整備事業の推進に資することを目的として、次の事業を実施した。

開催日	内 容	場 所
7月22日（月）	幹事会	栃木市役所
9月12日（木）	総 会（文書総会）	—

4 庁議

市長が主宰し、市政の基本方針等の審議または協議を行った。

- ・開催回数 16回（うち、臨時庁議2回、定例庁議14回）
- ・内 容 審議事項 67件  
報告事項 22件  
連絡事項 2件

5 部長会議

副市長が主宰し、重要な事業等の審議または協議を行った。

- ・開催回数 12回
- ・内 容 審議事項 57件  
報告事項 6件  
連絡事項 5件

6 幹事課長会議

総合政策部長が主宰し、業務の調整及び連絡を行った。

- ・開催回数 12回
- ・内 容 審議事項 74件  
報告事項 7件  
連絡事項 5件

7 政策会議

市長が主宰し、総合計画、施策評価、予算編成方針等の審議または協議を行った。

- ・開催回数 13回（うち、臨時政策会議1回、定例政策会議12回）
- ・内 容 審議事項 21件

報告事項	4件
連絡事項	1件

## 8 政策調整会議

総合政策部長が主宰し、政策会議附議事項のうち調整を必要とする事項等の審議または協議を行った。

- ・開催回数 8回
- ・内 容 審議事項 13件

## 9 土地利用対策

本市の総合的かつ計画的な土地利用を図るため、次の事務処理を行った。なお、平成25年度は、栃木市土地利用対策委員会の開催はなし。

- ・意見照会 (単位：件)

採取計画認可申請に係る意見	5
廃棄物処理施設設置等事前協議書に係る意見	1
公有地の拡大の推進に関する法律第4条第1項の規定に基づく土地有償譲渡の届出書に係る意見	4
鉱業法第24条による協議に係る意見	1
国土利用計画法第23条第1項の規定に基づく届出書に係る意見	1
太陽光発電設置に係る意見	20
計	32

## 10 公共施設のあり方

栃木市の所有する公共施設の効率的かつ効果的な配置、運営等に向けたあり方を長期的視点に立って検討するため、「栃木市の公共施設のあり方に関するガイドライン」の検討を開始した。

- (1) 栃木市の公共施設のあり方に関するガイドライン策定検討部会の設置
- (2) 栃木市の公共施設のあり方に関するガイドライン策定検討部会の開催
  - ・開催日 9月20日（金）
- (3) 施設カルテの作成着手
  - ・対象施設棟数 562

## 11 土地開発基金に関すること

- (1) 基金の額 (単位：円)

平成24年度末現在高	平成25年度中増減高	平成25年度末現在高
60,113,588	4,319	60,117,907

## (2) 運用の状況

(単位：円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
貸付金	-	-	-
現 金	60,113,588	4,319	60,117,907
計	60,113,588	4,319	60,117,907

## 12 栃木市土地開発公社に関すること

公有地拡大の推進に関する法律第19条に基づき、オリン晃電社工場跡地購入問題に伴う対応について、元理事長と土地の売主に対し損害賠償請求を行うよう栃木市土地開発公社に業務命令を発した。

これを受け土地開発公社は、両者に損害賠償請求を求めていたが期日までに応じなかったため、平成24年1月31日、宇都宮地方裁判所に両者を提訴した。平成25年度末時点で結審せず。

## ・経過

内 容	回数（回）
口頭弁論	2
準備的口頭弁論	5

## 13 サイクリングロード整備に関すること

自転車というツールを用いた観光情報を新たにまとめ、市内の観光スポットを周遊するコースを掲載したサイクリングマップを作成し、観光資源の活用に努めた。

また、快適なサイクリングをしていただくため、スポーツ自転車用の駐輪ラックと、空気入れやパンク修理等が行える簡易な工具のセットをコース上の各拠点に配備することで、サイクリング環境を整備した。

内 容	数 量
サイクリングマップ	10,000部
駐輪器具および工具セット	11セット

## 遊水地ワイズユース担当

## 1 渡良瀬遊水地にかかる企画・調整

## (1) ハートランド構想・ハートランドプラン

渡良瀬遊水地を仮想の国「ハートランド」として位置づけ、あらゆる世代の人々が渡良瀬遊水地に関することについて楽しみながら分かり易く理解できるようなイメージストーリーを持たせ、それに付随させた事業を展開していくことで渡良瀬遊水地に親しみを感じ、また来訪していただけるように「ハートランド構想」を発表した。

また、ハートランド構想を踏まえ、渡良瀬遊水地を活かしたまちづくりを展開し、ラムサール条約登録湿地の名にふさわしい自然環境の保全を図るため、渡良瀬遊水地の基本計画として平成26年度に策定する「渡良瀬遊水地ハートランドプラン」の準備

作業を行い、ハートランドプラン専門者会議準備会を開催した。

(2) 渡良瀬遊水地庁内連絡調整会議

渡良瀬遊水地の事業について、庁内各課が連携を図りながら全庁的に取り組むため、渡良瀬遊水地庁内連絡調整会議を設置した。会議は庁内関係部署18課の課長級職員及びチームリーダーで構成し、「治水・防災」、「環境保全」、「地域振興」、「交流・習」の4つの部会を設け、遊水地に関する各課間の事業調整を行った。

・活動内容

実施日	内 容	場 所
6月28日（金）	第1回渡良瀬遊水地庁内連絡調整会議・部会合同会議	市役所
9月26日（木）	第1回部会代表者会議	大平総合支所
12月25日（水）	第2回渡良瀬遊水地庁内連絡調整会議・部会合同会議	藤岡総合支所
1月28日（火）	第2回部会代表者会議	藤岡総合支所

(3) 各種事業支援

藤岡教育支所所管の渡良瀬遊水地ボランティア養成講座、藤岡総合支所産業振興課所管の熱気球購入事業などの庁内各課事業について、また渡良瀬ロックフェスティバル2013、WATARASE orgabits EKIDEN 2013、その他ハート型グッズの制作など各団体主催の渡良瀬遊水地およびハートランド構想に関連する事業について支援を行った。

(4) ラムサール条約登録湿地関係市町村会議

「ラムサール条約登録湿地関係市町村会議」において3年に1度開催される「ラムサール条約登録湿地関係市町村長会議」に市長が出席し、平成26年度～平成28年度の間、栃木市長が監事として役員に加わることが議決された。

- ・実施日 11月1日（金）
- ・会 場 沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ（沖縄県那覇市）
- ・参加市町村 ラムサール条約登録湿地49箇所のうち28箇所33市町村

(5) 渡良瀬遊水地保全・利活用協議会

平成25年度より、渡良瀬遊水地に関係する自治体や国、自治会、治水団体、利用者団体、環境保護団体など37の構成員を以て、各団体の情報共有・意見交換の場として「渡良瀬遊水地保全・利活用協議会」が発足した。平成25年8月より2年間小山市長が会長、栃木市長、古河市長、野木町長、板倉町長、加須市長が副会長となった。なお、会長は栃木市長と小山市長で2年交代することとなった。また、3月には新規構成員の公募を行い、新たに7団体の申込みがあった。

第1回渡良瀬遊水地保全・利活用協議会

- ・実施日 8月2日（金）
- ・会 場 国土交通省利根川上流河川事務所 大会議室
- ・参加団体数 37団体

(6) 要望活動

8月、国土交通省利根川上流河川事務所長宛に、渡良瀬遊水地に関連する7項目につ

いて、「渡良瀬遊水地に関する要望書」として提出した。

## 2 渡良瀬遊水地普及啓発

### (1) 講演会・パネルディスカッションの開催

渡良瀬遊水地及び栃木市環境基本計画の普及啓発に資するため、講演会・パネルディスカッションを環境課と連携して開催した。

栃木市環境基本計画普及講演会 「人と自然のふれあい」

- ・実施日 1月13日（月）
- ・会場 栃木文化会館 小ホール
- ・来場者数 409人
- ・内容

講演会 自然を“手入れ”する大切さ ～自然とどう付き合うか～

#### ・講師

養老孟司氏 東京大学名誉教授

パネルディスカッション 人と自然のふれあい～渡良瀬遊水地を通して～

#### ・パネリスト

養老孟司氏

須見徹太郎氏 国土交通省利根川上流河川事務所 所長

赤塚朋子氏 宇都宮大学教育学部教授・環境基本計画策定委員長

#### ・コーディネーター

鈴木俊美 市長

### (2) 渡良瀬遊水地普及啓発用品の制作

渡良瀬遊水地の周知を図るため、以下の用品を制作し、イベントなどで活用した。

#### ア 渡良瀬遊水地PR用チラシ・ポスター制作

渡良瀬遊水地をPRするため、チラシ及びポスターを制作した。制作したチラシは各種イベント時に配布、ポスターは各種イベント時に掲示および希望者への配布を行った。

- ・制作枚数 チラシ（A4版） 10,000枚  
ポスター（A1/B1版） 350枚/50枚

#### イ 渡良瀬遊水地PR映像制作

渡良瀬遊水地をPRするため、公共施設や各種イベント会場など様々な場所で鑑賞できるヒーリングDVDを制作した。

- ・仕様 時間…約25分

BGMに合わせて渡良瀬遊水地の写真をスライド形式、かつ動画演出を用いて効果的に見せるもの。写真は「渡良瀬遊水地フォトコンテスト」で入選したもの等を使用。また、BGMはオリジナルのもので制作。コピー配布可。

#### ウ 渡良瀬遊水地PR用クリアファイル制作

渡良瀬遊水地をPRするため、各イベント等で配布するクリアファイルを制作した。

- ・仕様 A4版（デザイン2種類）、各7,500枚

エ ヨシ紙封筒の制作

渡良瀬遊水地産ヨシが30%含まれたヨシ紙の封筒を制作、利用を開始した。

- ・仕様 長3/角2（デザインは同一で4種類）

デザインは、封筒下部に渡良瀬遊水地の四季折々の写真と簡単なコメントを加えたもの。

(3) 「渡良瀬遊水地を好きになってもらう月間～栃木市のビッグハートがここにある！～」の開催

渡良瀬遊水地の周知を図るため、渡良瀬遊水地がラムサール条約に登録された7月3日に合わせ、市内各地域の庁舎や公民館などにPRブースを設置し、パネルを展示するとともにチラシの配布を行った。

ア 栃木地域

- ・実施日 7月1日（月）～5日（金）

- ・会場 本庁舎1階ロビー

イ 都賀地域

- ・実施日 7月8日（月）～12日（金）

- ・会場 都賀公民館

ウ 大平地域

- ・実施日 7月16日（火）～19日（金）

- ・会場 大平健康福祉センター（ゆうゆうプラザ）

エ 西方地域

- ・実施日 7月22日（月）～26日（金）

- ・会場 西方総合支所

(4) エコライフ・フェア2013「湿地の恵み展～ラムサール条約湿地の観光と物産」へ出展

渡良瀬遊水地の普及啓発に資するため、環境省主催『エコライフ・フェア2013「湿地の恵み展～ラムサール条約湿地の観光と物産」』に職員2人を派遣し、2日間に渡るPR活動を行った。ポスター掲示及びチラシ設置の他、本市藤岡地域産のコシヒカリ1合100袋の配布も併せて実施した。

- ・実施日 6月1日（土）～2日（日）

- ・会場 代々木公園（東京都渋谷区）

- ・来場者数 78,000人（2日間合計、本部集計）

(5) 渡良瀬遊水地PR活動

渡良瀬遊水地の周知を図るため、各イベントで普及啓発ブースを設置し、パネル展示やチラシ配布等を行い、PR活動を行った。

ア みずウォークin渡良瀬遊水地2013

- ・実施日 4月21日（日）

- ・会場 藤岡スポーツふれあいセンター

イ Eボートレース2013渡良瀬大会

- ・実施日 8月24日（土）

- ・会 場 渡良瀬貯水池（谷中湖）
- ウ 渡良瀬遊水地フェスティバル2013
  - ・実 施 日 9月8日（日）
  - ・会 場 渡良瀬遊水地子供広場ゾーン
- エ 栃木市ウォーキング大会
  - ・実 施 日 11月3日（日）
  - ・会 場 藤岡遊水池会館駐車場
- オ 東武鉄道ハイキング
  - ・実 施 日 3月8日（土）
  - ・会 場 藤岡遊水池会館駐車場

(6) ヨシズの購入

渡良瀬遊水地の代表的な植物であるヨシを用いた地元産ヨシズを生きた教材とし、市内各小中学校の児童生徒がヨシズに触れ、省エネルギーや自然保護など環境について学ぶ機会を創出するために購入し、配布した。各小中学校への配布の調整及び事後検証については、教育委員会教育総務課が窓口となり、連携して行うこととした。

- ・規 格 高さ 2.7m×幅 2.7m(9 尺×9 尺) 80 枚  
高さ 2.7m×幅 1.8m(9 尺×6 尺) 40 枚

統計担当

1 基幹統計調査

(1) 学校基本調査（文部科学省）

学校教育行政に必要な学校に関する基本的事項（学校数、学級数、在学者数、教職員数、施設等）を明らかにするため、調査を実施した。

- ・調査期日 平成25年5月1日
- ・調査校

区 分	対象数
小学校	27校
中学校	14校
幼稚園	16園
専修学校	4校
各種学校	4校

(2) 住宅・土地統計調査

住宅・土地関連諸施策の基礎資料を得るため、住宅・土地の保有状況、世帯の居住状況等の調査を実施した。（総務省）

- ・調査期日 平成25年10月1日
- ・調査対象 総務大臣が指定した調査区内の住宅等
- ・調査区数 174調査区
- ・調査員 72人

- ・指導員 12人

(3) 工業統計調査

工業の実態を明らかにするため、製造業に属する事業所を対象として、事業所数・従業員数・出荷額等の調査を実施した。（経済産業省）

- ・調査期日 平成25年12月31日
- ・調査対象 市内の製造業を主とする事業所
- ・調査区数 210調査区
- ・調査員 48人
- ・指導員 2人

2 県単統計調査

栃木県毎月人口調査

国勢調査における県下の人口と世帯数を推計し、その動向を明らかにするため、市町村別人口と世帯数（毎月1日現在）及び年齢別人口（10月1日現在）を推計するもので、市民生活課の資料により本市における毎月の出生・死亡・転入・転出者数及び世帯の増減数を加減し推計した人口調査報告書を作成し報告した。

3 その他の事業

(1) 平成26年版県民手帳の予約受付及び配付

県統計協会からの依頼を受け、県民手帳の予約受付をし、希望者に配付した。また、市内コンビニエンスストア（セブンイレブン・ローソン）及び一部書店にて販売される記事を広報とちぎに掲載し、一般の方へ周知した。

- ・大型版 180冊
- ・ポケット版 241冊

(2) 統計調査員確保対策事業

指定統計調査を円滑に行うため、県の指導の下、統計調査協力員を確保し、統計調査協力員の資質向上を図るため統計調査員による研修会への参加及び栃木県統計大会への参加等を行った。

- ・統計調査協力員数 463人